



ん

運うん開ひらく

座ざ間ま神じん社じやの

筆ふでまつり

座間神社の筆まつり

座間神社は伝説によると、遠い昔この地方に悪病が流行した時、村人を救ってくれた飯綱権現を祭ったのが起りといわれ、明治九年、座間神社と改称するまでは、飯綱社といわれていました。明治四十二年には、明王社、浅間社、天神社、山王社、道祖神、蚕神社の六社がいっしょに祭られました。

筆まつりは、使用できなくなった筆を持ちよって燃やし、字がじょうずに書けるようになることや勉強がよくできるように学問の神さま、天神さまにお願いする祭りのことで、毎年一月の最終日曜日に行われます。

ん